

いまあるものに +αで防災を

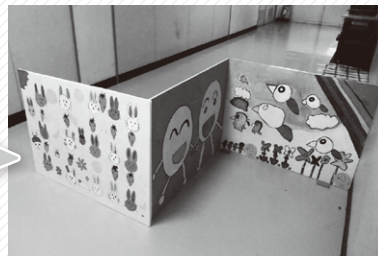
平成23年度～

東日本大震災の経験(下校途中の生徒を学校へ連れ戻し、保護者への引き渡しを実施)、防災教育チャレンジプランへの応募をきっかけに、学校を挙げて防災教育をスタート。



東日本大震災のときに、自力通学の生徒を教師が迎えにいき、学校で保護者の迎えをみんなで待った。大きな余震で電車が止まった時に、生徒はすぐ学校へ連絡をした。
普段からコミュニケーションを積極的にとり、「何かあったらすぐに連絡を」と、日常から呼びかけていたからできた。

無理をして防災を新しく取り入れようとするのは難しい。今あるものに、防災を+αする。授業や行事で実施をした仕組み(分担)や資料を残しておくことができれば、担当が変わっても継続できる。



高等部の選択美術の授業でパーティションを作成した。学校が避難所になった時に安心して過ごせるように考えて、絵や色を決めた。小学部や幼稚園で日常的に活用されている。

誰でもできる みんなでできる “あたりまえ防災”があたり前に

“あたりまえ防災”を多くの人に知ってもらえたことが嬉しい。

「あたりまえ体操／COWCOW」ぼうさい編

あたりまえーあたりまえー あたりまえ防災♪
地震のときはー「だんごむし!」あたりまえ防災♪
忘れちゃいけないー「あたまをまもる!」あたりまえ防災♪
逃げるときに大切なのはー「くつ!」あたりまえ防災♪
海の近くで地震がきたらー「とじかくにげっべ!」あたりまえ防災♪
どこににげっべー「はやく!たかく!」あたりまえ防災♪

「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」
「命を守る」あたりまえ あたりまえ
あたりまえぼうさい♪ 「がんばっぺーす!!」

※株式会社吉本音楽出版(作家及び実演家であるCOWCOWさん)の許諾を得て替え歌を使用しています。



もし地震が起きても、
みんなで協力してほしい。
一人一人希望を持ってほしい。

顔の見える地域との関係づくり 防災教育の支えに